

◆青年会・献血担当： (㊟杉本真俊委員)
7/18 献血ルームミューズ 10時
ご協力お願いいたします。

◆少年会…………… (㊟小田木智嗣委員)
第31回 サマースクール静岡 隊員募集
前半隊 7/27～7/31
後半隊 8/3～8/7
詳細は各教会にお配りしたチラシ参照して
いただくか担当まで カウンセラーも同時
募集中！ 大勢の参加お待ちしております。

◆広報庶務部・書籍： (㊟山口正洋委員)
ふれあい折り込み8月は1組です。
すきつと④ テーマ「Mastery―熟達―」
9/1発売 定価880円

・「お世話取りに悩む前に読む『統合失調症・
依存症のおたすけ』 鈴木顕太郎・廣岡文
衛著 定価1,870円を1,496円でお届けし
ます

◆時報手配り…………… (㊟澤田常和委員)
7月手配りは7・14・21日拠点教会到着とな
ります。お間違いないようお願いします。

◇7月 定例支部活動
◆合唱団アヴァンティ―練習日
とき 7月5日・19日
会場 鴨江アートセンター (206号)

◆あらみち会…………… (㊟鈴木通信委員)
日時 22日(土) 9時15分～12時
会場 遠陽分教会
講話 板山眞一先生
皆様ぜひご参加を！
送迎 浜松駅北8時20分送迎レイン発

◇定例委員会・例会
◆運営委員会…………… 休 会
とき 8月 日() 9時30分

◆青年会献血…………… ミューズ
とき 7月18日(火) 10時
◆婦人会…………… 休 会
とき 7月 日()

◆8月 支部例会
と き 8月9日(水)
会 場 正岐道分教会
当番委員 吉岡弘和先生
三代真柱様お言葉
「教会内容の充実」 冊子持参下さい

◆各組活動
【1組】…………… 組長 鈴木 豊司(濱 東)
〈配本・集金〉 7月28日(金) 濱 東
〈合同会議〉 8月9日(水) 休 会
〈ひのきしん〉 8月13日(日) 休 会

【2組】…………… 組長 渡邊英一郎(濱 松)
〈配本・集金〉 8月9日(水) 支部例会後
【3組】…………… 組長 長田 虎夫(濱 都)
〈会長会議〉 7月29日(土) 10時 配本・集金
〈班長会議〉 月 日() 時 分 休 会
〈ひのきしん〉 月 日(日) 時 分 未 定

【4組】…………… 組長 谷口 和幸(四日市浜)
〈合同会議〉 8月9日(水) 9時30分 四日市浜
【5組】…………… 組長 古山 慶仁(濱 宿)
〈会長会議〉 7月28日(金) 9時30分 濱 宿
【6組】…………… 組長 宮本 善成(長 上)
〈合同会議〉 8月9日(水) 19時 東濱名分
【7組】…………… 組長 太田 貴之(濱 名)
〈配本・集金〉 8月9日(水) 13時30分 篠 原

ふれあい

2023年
7月号
No.467
よもと会部
西遠支

またたすけをいやがらうよふいつなりと
のばしなりともはやめなりとも
第八号―32



こどもの心をおぢばに繋ぐために

支部少年会担当 小田木智嗣

日頃は、少年会活動の上にご
尽力を賜り、誠にありがとうございます。
ございます。

日差しも強く感じられるよう
になり、いよいよ真夏の祭典「こ
どもおぢばがえり」のお誘いの
シーズンも、大詰めを迎えてま
いりました。

こどもおぢばがえりは、親神
様、教祖がお待ちくださる、人
間のふるさとごばに、大勢の子
供たちが帰り集う、貴重な行事
です。

信仰の雰囲気漂う親里で、多
くの仲間と共に楽しみながら教
えを学びひのきしんに励む経

験は子供の信仰心を培う上で、
とても大切な機会になります。
コロナ禍において、多くの
子供たちがおぢばへ帰れない
状況が続いてきましたが、教
祖140年祭へ向かう年祭活動一
年目の年に、子供たちにおぢ
ばに帰る喜びを感じてもらい
たいとの思いも込め、本年は
4年ぶりに開催されることと
なりました。

子どもたちと共に親里へ帰
る喜びを感じ、日々生かされ
ていることへの感謝の心で、
ひのきしんに励み、親神様・
教祖にお礼申し上げたいと思

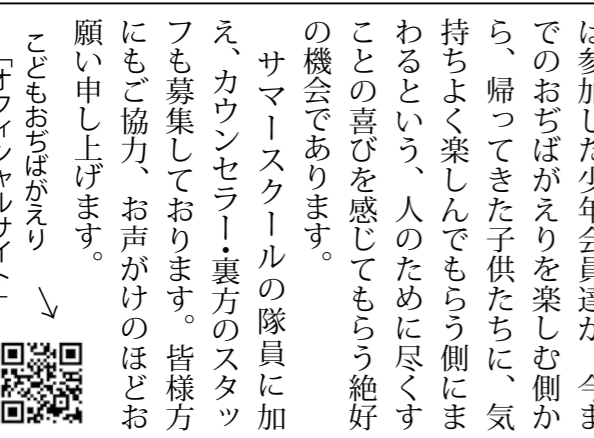
います。そして、おぢばで仲間
と共に楽しく過ごしながら、そ
の喜びを分かち合う体験は、必
ず子供たちの心をおぢばに繋ぐ
ものになります。
そのためには、育成にあたる
私たちが、子どもたちと共にお
ぢばに帰れる喜びを胸に、
三つの約束

「生きるよろこびを味わいます」
「ものを大切にします」
「仲良くたすけあいます」
「仲良くたすけあいます」
を実行する姿を子供たちに映す
ことが大切です。
今年のこどもおぢばがえり
は、インターネットでの申し込
みのみとなっております。それ
ぞれの教会に割り当てられたI
Dと要項が届いていると思いま
すので、要項をご覧ください、
会本部のオフィシャルサイト、

もしくは少年会公式LINEで
の申し込みをお願いします。
最後に、サマースクール静岡
の隊員を募集しています。少年
会ひのきしん隊のサマースク
ール静岡は、小学校6年生から中
学校3年生までの、わかぎと呼
ばれる少年会員達が、共に合宿
生活を送りながら、こどもおぢ
ばがえりのひのきしんをさせて
いただくものであります。これ
は参加した少年会員達が、今ま
でのおぢばがえりを楽しむ側か
ら、帰ってきた子供たちに、気
持ちよく楽しんでもらう側にま
わるといふ、人のために尽くす
ことの喜びを感じてもらおう絶好
の機会であります。

サマースクールの隊員に加
え、カウンセラー・裏方のスタッ
フも募集しております。皆様方
にもご協力、お声がけのほどお
願い申し上げます。

こどもおぢばがえり
「オフィシャルサイト」



（前回の続きから）

前回は、あなたと一緒に、宇宙の旅をしました。数々の美しい銀河、何億光年も掛かって語りかけてくる宇宙の言葉、人工衛星による惑星の探検。あれから何度か、夜の空を見上げて下さいましたか？ 宇宙のロマンに浸って下さいましたか？

そして、最後にお願ひしましたように、胸に手を当て、「いのち」の鼓動を確かめて下さったでしょうか？ 今たしかに、生かされている証を実感なさったでしょうか？ この壮大な宇宙。だが、「いのち」は、この地球にしか見当たらないのです。

1. 貴方とわたしのいのちのために — その6

「いのち」

「いのち」って、いったい何なのか。生きているとはどういうことなのか。生かされているとは、どういう働きによるのだろうか。私どもの住む、この宇宙の広大なる空間には、光と原子と、素粒子がパラパラとあるだけで、分子程度に進化したものは、ごく稀に見受けられるに過ぎません。

物理学の法則の示すところに拠りますと、ビックバンで始まって以来、宇宙は今日まで膨張を続け、今日なお膨張を続け、果てしなく

混沌の方向に向かっていきます。

熱力学の大法則、エントロピーの法則の示すところに拠りますと、総てが薄まり、均一になり、画一的な静止の状態に向かっていきます。利用できる物が、利用できない物へ、秩序ある物は、無秩序な物へと、ただ一つの方角にのみ変化しているのです。

だが、この宇宙の中で、地球上にただ一つ存在する「いのち」、この生命現象は、時計仕掛けのような秩序を自らの手で作り出しているのです。「いのち」という、この素晴らしい秩序ある生命体を、一見いとも簡単に、次から次へと誕生せしめているのです。「いのち」が示す、この素晴らしい秩序、それは宇宙全体の流れの中で見れば、正に異端的反体制グループとも言われるものなのです。地球上にただ一つ存在する「いのち」。それは、宇宙の異端的営みなのです。宇宙の奇跡なのです。

原子地球の泥の海の中に生み出された「いのち」、それが単細胞から多細胞へ、さらに原始魚類から始まった、虫、鳥、畜類を経て、サルからヒトへ、数々の植物の群れ、今地球

上には、約250万種といわれる絢爛たる「いのち」の花が咲いているのです。

その中のひとつの種として、私どもヒトが居ます。そして私たちは、勉強なんかしなくつても、研究なんかしなくつても、十月十日経てば、反体制異端者ともいふべき、新たな秩序ある「いのち」を、一見いとも簡単に産み育てるのです。

今日は、「いのち」が、どうしてその「いのち」を維持しているのかに、冷静な目を向けてみたいと思います。

私たちは日頃、生きていふことを当然のこととして、それに深い目を向けることを怠りがちです。しかし、「いのち」は一人では生きられません。この地球上の、あらゆる生きていふものは、他のいろいろな生きていふものと一緒に生きて、はじめて生きていふことができるのです。

言葉を換えますと、私たちは、他の「いのち」が作ったものを食べて、自分の「いのち」を維持しているということなのです。生物が生きるために重要なことは、何を食べて生きていふか、ということなのです。

【続く】

山本利雄先生 〈ラジオ講話〉

支部だより

教 186年
R 5.7
NO.573

◆表統領挨拶

・6月も終盤で今年も半分が過ぎ、あつという間に月日は流れてしまします。教区の方には「ようぼく一斉活動日」第2回説明会をさせていただきましたが、現在その内容や会場の設定など様々なことについて、ご検討いただいているところがあります。どうしても会場など、今の段取りの設定をしていると、細かいところまで話が進んでいってしまします。細かいところを詰めていくと、5回行うところが際立ってしまい、もともとの目的であるとか、大きな意味であるとか、あるいは三年千日の期間である本来の目的を忘れてしまいがちになってしまふと思ひますので、そのあたりも調整をお願いしたいと思ひます。三年千日に、一人でも多くのようぼくが如何に年祭活動に参加していただけるかが一つのテーマであります。年祭活動はやはり全力の期間です。例えば陸上競技で言えば、「用意ドン」が三年千日の始まりの日です。「用意ドン」から早く走るために、あるいは完走

混沌の方向に向かっていきます。

熱力学の大法則、エントロピーの法則の示すところに拠りますと、総てが薄まり、均一になり、画一的な静止の状態に向かっていきます。利用できる物が、利用できない物へ、秩序ある物は、無秩序な物へと、ただ一つの方角にのみ変化しているのです。

だが、この宇宙の中で、地球上にただ一つ存在する「いのち」、この生命現象は、時計仕掛けのような秩序を自らの手で作り出しているのです。「いのち」という、この素晴らしい秩序ある生命体を、一見いとも簡単に、次から次へと誕生せしめているのです。「いのち」が示す、この素晴らしい秩序、それは宇宙全体の流れの中で見れば、正に異端的反体制グループとも言われるものなのです。地球上にただ一つ存在する「いのち」。それは、宇宙の異端的営みなのです。宇宙の奇跡なのです。

原子地球の泥の海の中に生み出された「いのち」、それが単細胞から多細胞へ、さらに原始魚類から始まった、虫、鳥、畜類を経て、サルからヒトへ、数々の植物の群れ、今地球

上には、約250万種といわれる絢爛たる「いのち」の花が咲いているのです。

その中のひとつの種として、私どもヒトが居ます。そして私たちは、勉強なんかしなくつても、研究なんかしなくつても、十月十日経てば、反体制異端者ともいふべき、新たな秩序ある「いのち」を、一見いとも簡単に産み育てるのです。

今日は、「いのち」が、どうしてその「いのち」を維持しているのかに、冷静な目を向けてみたいと思います。

私たちは日頃、生きていふことを当然のこととして、それに深い目を向けることを怠りがちです。しかし、「いのち」は一人では生きられません。この地球上の、あらゆる生きていふものは、他のいろいろな生きていふものと一緒に生きて、はじめて生きていふことができるのです。

言葉を換えますと、私たちは、他の「いのち」が作ったものを食べて、自分の「いのち」を維持しているということなのです。生物が生きるために重要なことは、何を食べて生きていふか、ということなのです。

【続く】

できるために体力をつけてとか、技術を磨いてという時期ではないのです。今の体力で、今の技術で、全力で走ることをする時期だと思ひます。そういう意味でなかなか「用意ドン」ができないようぼくもおられるわけですが、しかし、少し声を掛ければちよつと走り出すことができる人は、一方でおられると思ひます。そこを今回は対象としているので、そこをよくご検討にいただければありがたいと思ひます。しっかりと最後まであと2年半を走り切つて、今回の三年千日で教祖に何をご覧いただくことができるのか、どういう姿をお見せすることができるのかということを、最後まで忘れないようにしながら、それぞれがつとめさせていただきますたいと思ひます。

◆本部・教区事項

- ・ひのきしんスクール
- 講座【カウンセリング】
- 開催日時：立教186年8月26日～27日
- 会場：おやさとやかた南右第2棟3階
- 対象：ようぼく 定員：40名
- 受講御供：2000円 締切日：8月15日
- ・布教部オンライン講座【若者と信仰】
- 配信期間：立教186年9月25日～10月31日
- 対象：テーマに関心がある方

◆支部事項

◆布教部…………… (㊟長田虎夫委員)

◆本年も9月がにをいがけ強調の月、9/28～30が全教一斉にをいがけデーです。早めに各組・各教会で計画をしていただき呼びかけをお願いします。

◆教務部…………… (㊟吉岡弘和委員)
半期納税書は直接『税務署』に提出をお願いします。

◆ひのきしん部…………… (㊟木船嘉弘委員)
7/9 中沢墓地ひのきしん 9時よりつとめさせて頂きます。ひのきしんできる服装で各自熱中症対策を心掛けていただきます様お願いします。

◆災救援…………… (㊟水野慎治委員)
6/6 磐田市豊岡地区敷地出動有難うございました。6/6・7両日とも4名出動。
8/6・7 バラエティー会場撤収ひのきしん (佐野原詰所宿泊)

◆婦人会…………… (㊟木船眞澄委員)
7月例会はございません。
7月例会は 8月28日(月) 10時～濱松分
女子青年 7月9日(日) 移動例会 11時30分
会場はLINEで連絡します